ODELIC

オーデリック株式会社
第77期（2016年3月期）決算説明資料

オーデリック株式会社
http://www.odelic.co.jp
JASDAQ
6889

目 次

ODELIC

1. 市場環境と2016年3月期連結業績

2. 品目別販売実績

3. 2017年3月期業績予想及び中期経営計画

4. 資料

1-1. 市場環境推移

1-2. 連結業績推移

1-3. 事業成績

1-4. 営業利益増減分析

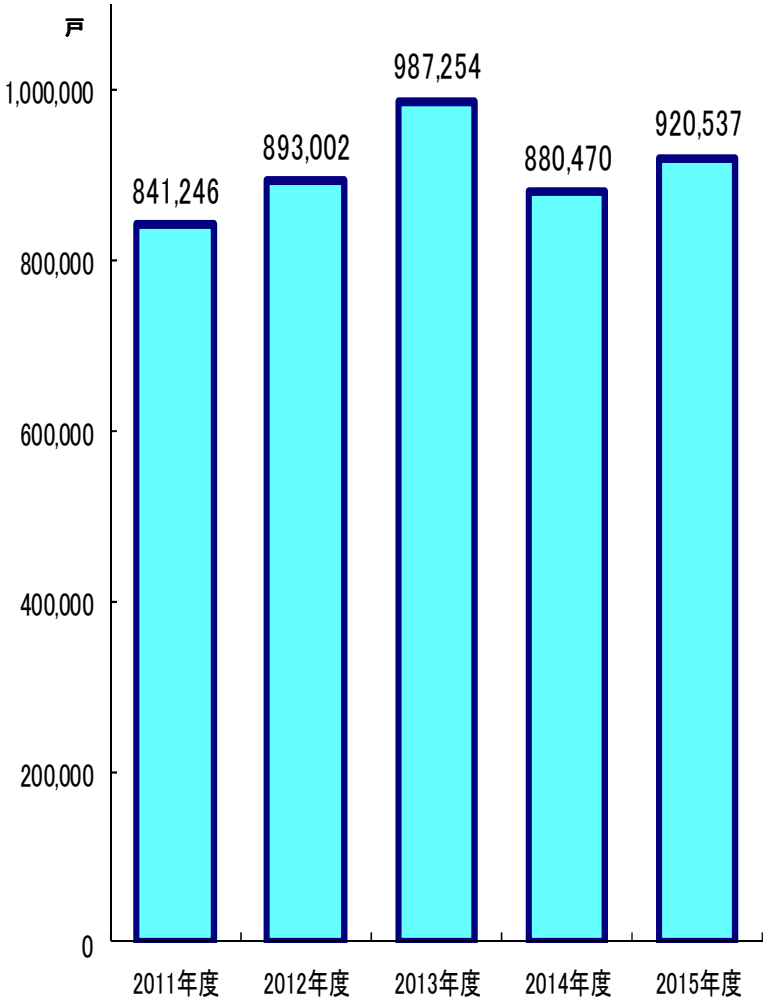
1-5. 資産・負債の増減

1-6. キャッシュ・フロー

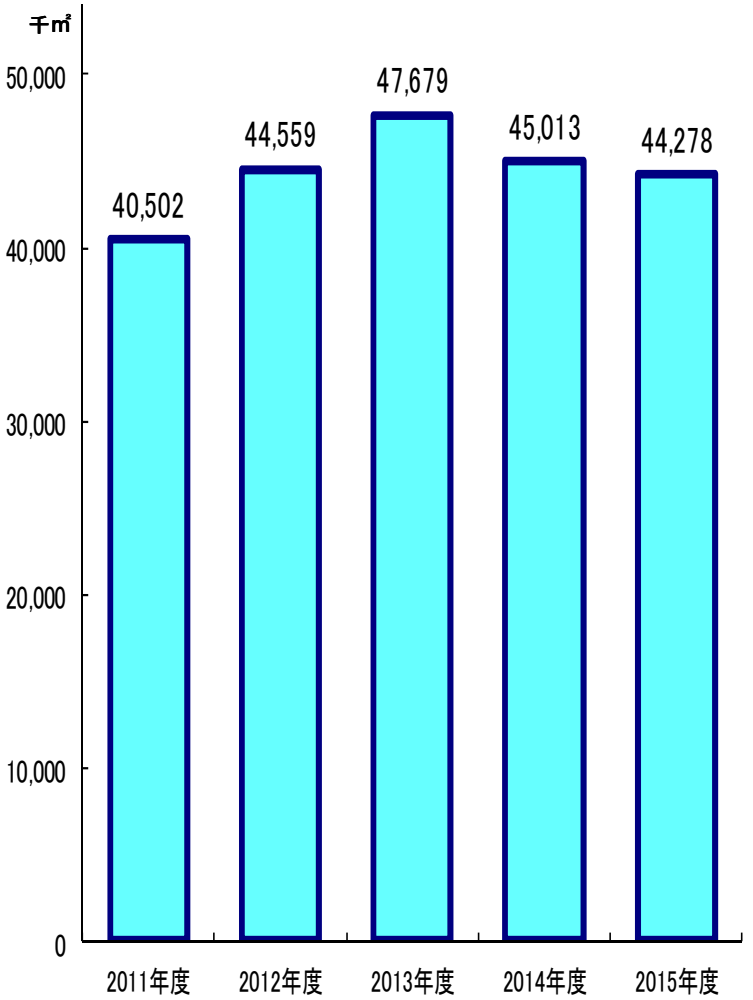
1-1. 市場環境推移

ODELIC

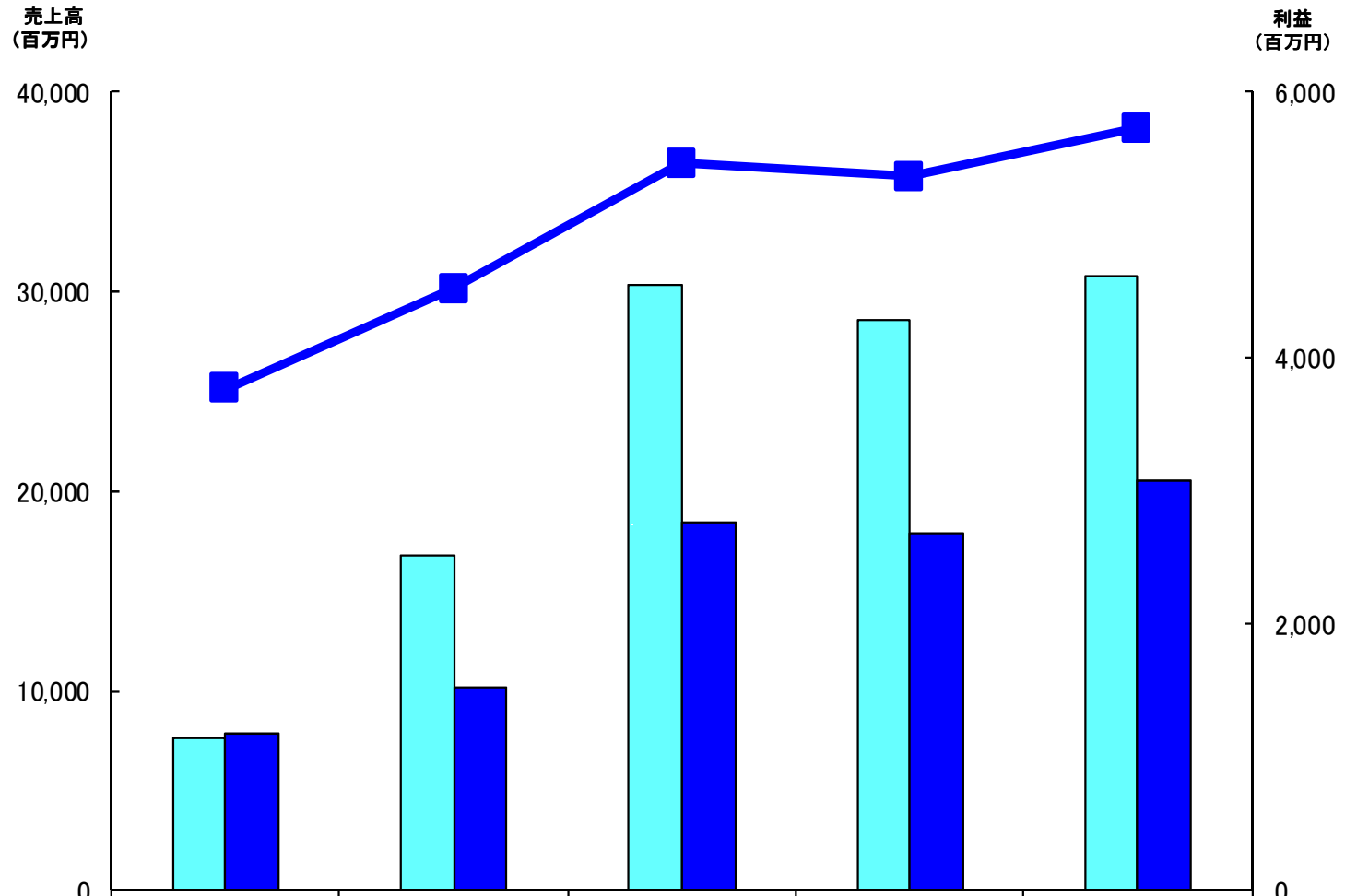
新設住宅着工戸数年度別推移



非居住用建築物着工床面積年度別推移（民間）



1-2. 連結業績推移



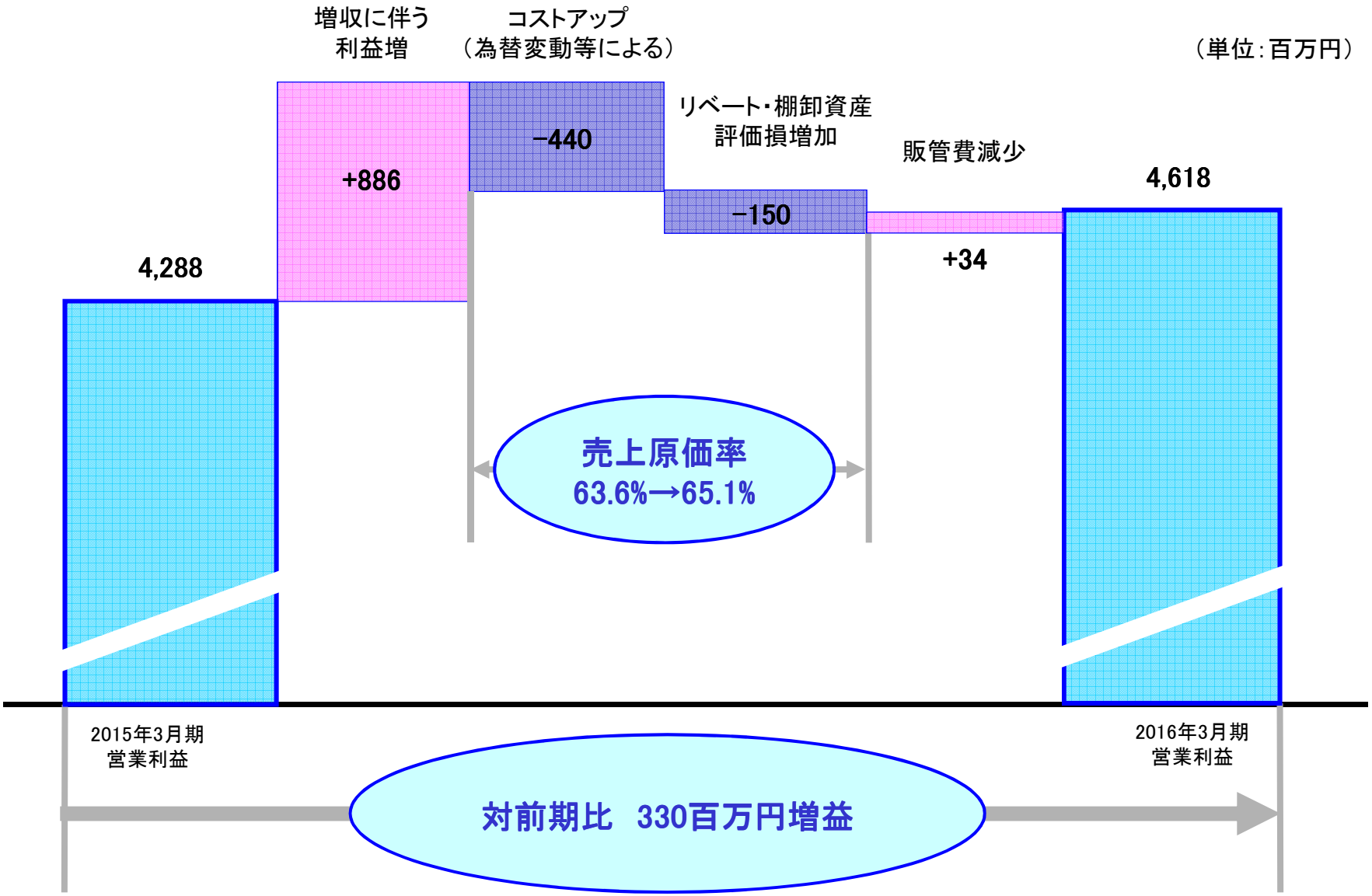
	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
売上高	25,131	30,178	36,437	35,768	38,204
営業利益	1,142	2,525	4,558	4,288	4,618
当期純利益	1,181	1,532	2,770	2,683	3,081

1-3. 事業成績

ODELIC

（単位：百万円）	2016年3月期（当期）			2015年3月期（前期）			対前年同期増減		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	17,520	20,684	38,204	16,435	19,332	35,768	1,085	1,351	2,436
売上高前期比	106.6%	107.0%	106.8%	103.2%	94.3%	98.2%			6.8%
売上原価	11,315	13,561	24,877	10,309	12,426	22,736	1,006	1,134	2,140
売上総利益	6,204	7,122	13,327	6,125	6,905	13,031	78	216	295
売上総利益率	35.4%	34.4%	34.9%	37.3%	35.7%	36.4%			△1.5%
営業利益	1,957	2,660	4,618	1,854	2,433	4,288	103	227	330
経常利益	2,031	2,732	4,764	1,888	2,444	4,333	142	288	430
親会社株主に帰属する当期純利益	1,332	1,748	3,081	1,196	1,487	2,683	136	260	397

1-4. 営業利益増減分析


増収に伴う
利益増
コストアップ
（為替変動等による）
（単位：百万円）
+886
-440
リベート・棚卸資産
評価損増加
販管費減少
4,618
4,288
-150
+34
売上原価率
63.6%→65.1%
2015年3月期
営業利益
2016年3月期
営業利益
対前期比　330百万円増益

1-5. 資産・負債の増減

ODELIC

（単位：百万円）	2016年3月期	2015年3月期	前期比増減
流　動　資　産	25,190	22,867	2,322
固　定　資　産	10,030	9,499	530
有形固定資産	6,302	6,233	68
無形固定資産	1,150	1,166	△ 16
投資その他の資産	2,577	2,099	478
資　産　合　計	35,220	32,367	2,853
流　動　負　債	7,964	7,357	607
固　定　負　債	2,198	2,252	△ 54
負　債　合　計	10,163	9,610	553
純 資 産 合 計	25,057	22,757	2,300
負債純資産　合計	35,220	32,367	2,853

主な増減
（資産） ・現預金増加：799 ・受取手形及び売掛金増加：210 ・棚卸資産増加：1,259
（負債） ・支払手形及び買掛金増加：103 ・電子記録債務の増加：355
（純資産） ・利益剰余金増加：1,090 ・自己株式の消却による減少：△1,327

1-6. キャッシュ・フロー

ODELIC

（単位：百万円）	2016年3月期	2015年3月期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,874	3,295	△ 420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,398	△ 599	△ 798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 677	△ 619	△ 58
現金及び現金同等物の増減額	799	2,076	△ 1,276
現金及び現金同等物の期首残高	7,975	5,898	2,076
現金及び現金同等物の期末残高	8,774	7,975	799

当期の主な内訳
（営業活動によるキャッシュ・フロー） ・税金等調整前当期純利益：4,760 ・減価償却費：687 ・仕入債務増加：651 ・棚卸資産増加：1,259 ・売上債権増加：210 （投資活動によるキャッシュ・フロー） ・定期預金払戻による収入：400 ・定期預金預入による支出：1,000 ・有形固定資産取得による支出：778 （財務活動によるキャッシュ・フロー） ・配当金支払額：659

2-1. 販売金額・構成比推移

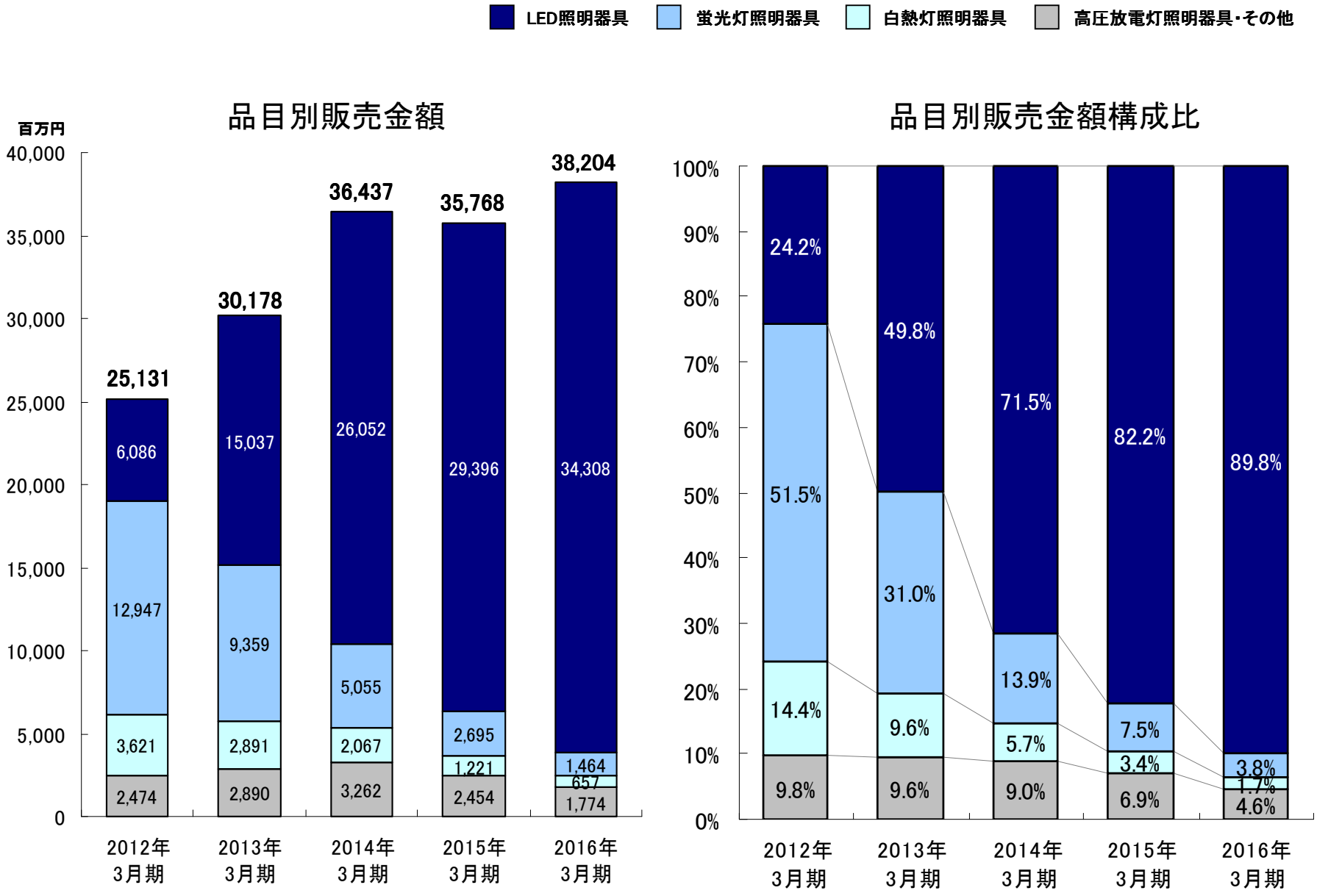
2-2. 四半期別販売金額構成比推移

2-3. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

2-4. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

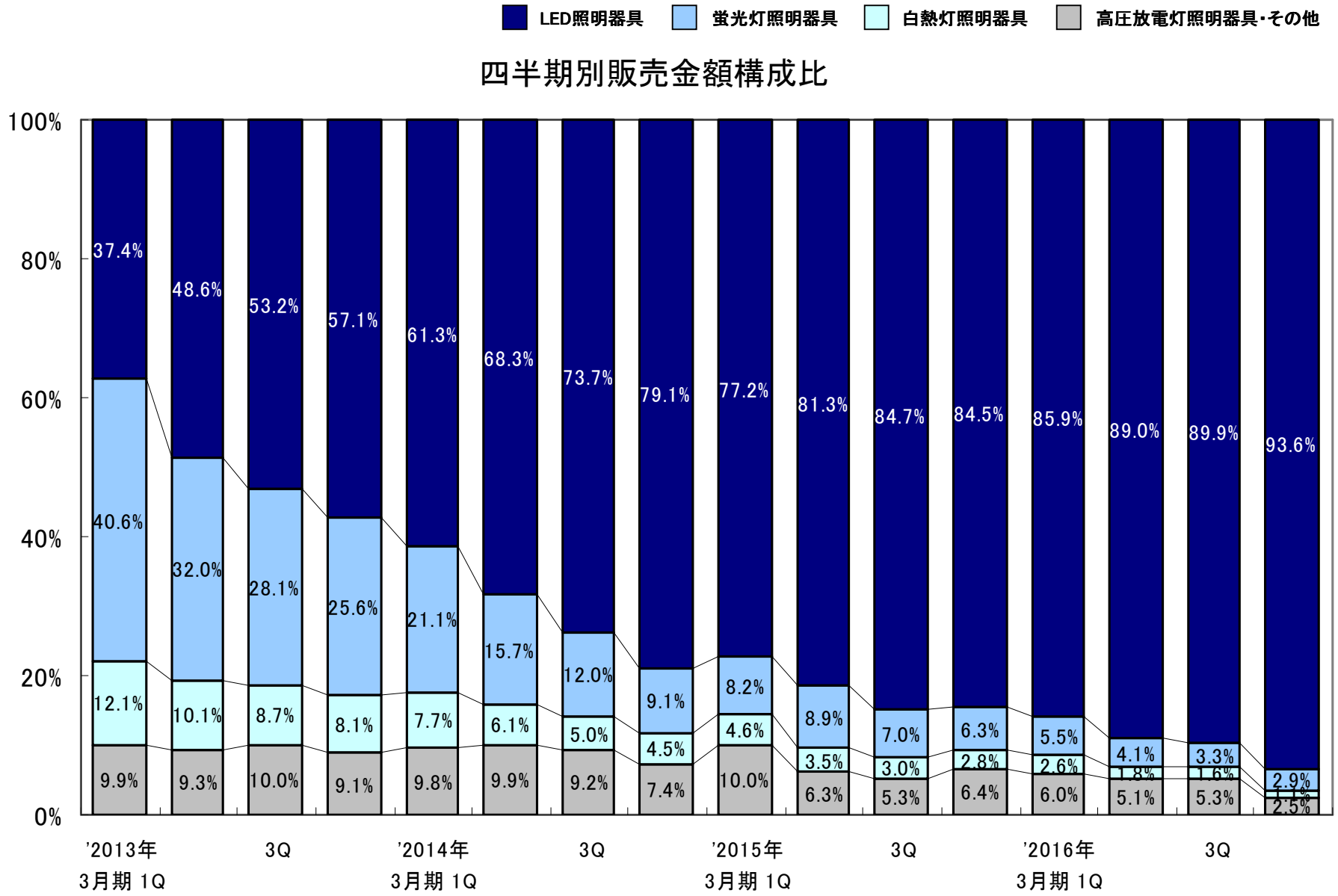
2-1. 販売金額・構成比推移

ODELIC



2-2. 四半期別販売金額構成比推移

ODELIC

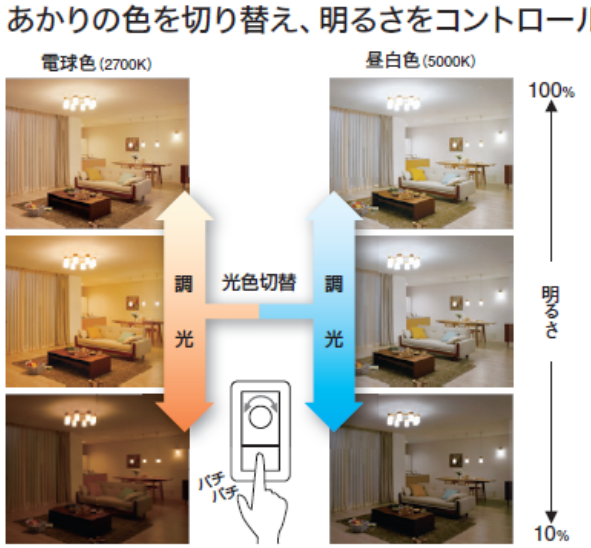


2-3. 当期における取り組みと実績（住宅向け）

ODELIC

1.照明コントロール機能の進化

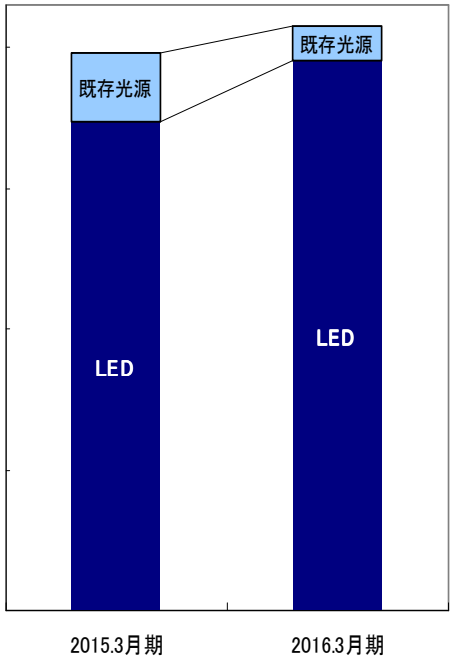
当社が注力している「照明コントロール」機能において、「あかりの色と明るさをかえる」LC-CHANGEを追加。
光の色を電球色（2700K 団らんのあかり）昼白色（5000K 昼のあかり）にワンタッチでかえられ、明るさを調節できる光色切替調光を、専用コントローラー、さらに手元のスマートフォン等で実現できる。



2.住宅基本照明の充実

廉価版ダウンライト、導光板と拡散板で均一な光を生み出した薄型シーリングライト「FLAT PLATE」シリーズ、居室用のコンパクトサイズシーリングライト等を展開。

住宅向け照明器具の販売実績



集計対象とした住宅向け照明器具の販売は前期比5%増となった。このうち、LED照明器具は前期比13%販売が増加、既存光源照明器具は50%減となり、本集計におけるLED化率は87%→94%となった。

集計対象：
シャンデリア、ペンダントライト、シーリングライト、ブラケットライト、ポーチライト、住宅用ダウンライト

2-4. 当期における取り組みと実績（非住宅向け）

ODELIC

1.商空間向けLED照明器具OS（オーエス）シリーズ新ラインナップの展開

2015年2月発刊の店舗向け製品カタログ「OS04.5」に掲載したダウンライト・スポットライトの販売を本格化させた。

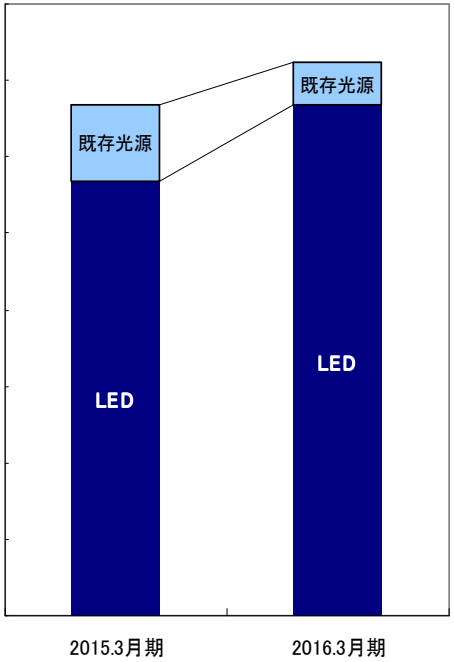
工具を使うことなく容易に着脱が可能な光源ユニット、配光を変換できるパネルで、適材適所への配灯に対応するPLUGGEDシリーズなど、店舗・商業施設への提案を進めた。

2.施設向けベースライト・高天井器具の拡販

LEDユニット型ベースライトLED-LINEシリーズは2015年3月に90品番追加した後、2016年1月にも54品番を追加し、あらゆる空間のベース照明として提案できる体制となった。

ハイパワーな高天井器具についても、従来のペンダントタイプに加え直付けタイプをラインナップし、商業施設、工場等の案件獲得に取り組んだ。

非住宅向け照明器具の販売実績



集計対象とした非住宅向け照明器具の販売は前期比10.7%増となった。このうち、LED照明器具は前期比17%販売が増加、既存光源照明器具は43%減となり、本集計におけるLED化率は85%→92%となった。

集計対象：
非住宅用ダウンライト、スポットライト、ベースライト、防犯灯、街路灯、特注品

3-1. 2017年3月期業績予想

3-2. 成長戦略 ①住宅照明分野

3-3. 成長戦略 ②非住宅照明分野

3-4. 成長戦略 ③海外展開

3-5. 中期経営計画における数値目標

3-1. 2017年3月期業績予想

ODELIC

	2016年3月期 実　績	2017年3月期 予　想
売上高（百万円）	38,204	40,500
営業利益（百万円）	4,618	5,200
経常利益（百万円）	4,764	5,250
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,081	3,400
1株当たり 当期純利益（円）	511.52	564.45
年間配当金（円）	130.00	140.00
配当性向	25.4%	24.8%

2015年度において前年度比4.6%増となった新設住宅着工戸数について、2016年度では2～3%程度の増加を予想。

売上の9割以上を占めるようになったLED照明器具について、単価下落幅はこれまでよりも低くなるものの、2017年3月期においても平均単価の下落は続くものと見込んでいる。

販売数量を前期比2ケタアップさせることで単価下落を補い、売上高は前期比6%増の40,500百万円を計画。

国内の自社工場を主体とする生産体制を維持し、稼働率向上や各種合理化等により、売上原価率低減に向けたコストダウンを引き続き推進。

増収とコスト低減努力により営業利益5,200百万円、当期純利益3,400百万円と最高益の更新を目指す。

増益予想をもとに、株主配当金については、中間配当60円（前期50円）、期末配当80円（前期80円）、年間配当金は140円と前期比10円の増配とする計画。

3-2. 成長戦略 ①住宅照明分野

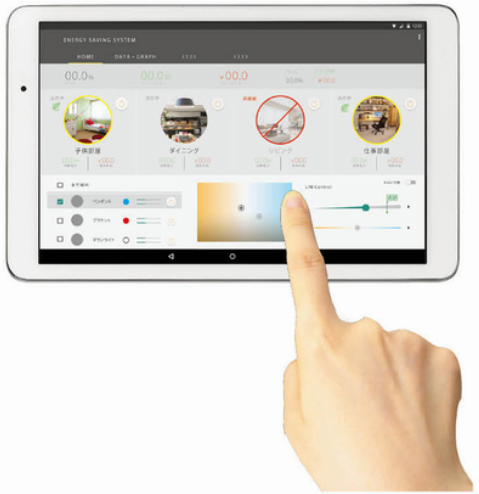
ODELIC

ストック需要の獲得とスマート化への対応

(1)あかりのコントロール機能充実： Connected Lighting for Home

器具どうしが無線でつながることで、家中のあかりをコントロールできる照明システムを新規開発。家のどこにいても、近くの器具から離れた場所の器具までコントロールが可能。

CONNECTED LIGHTING for Home

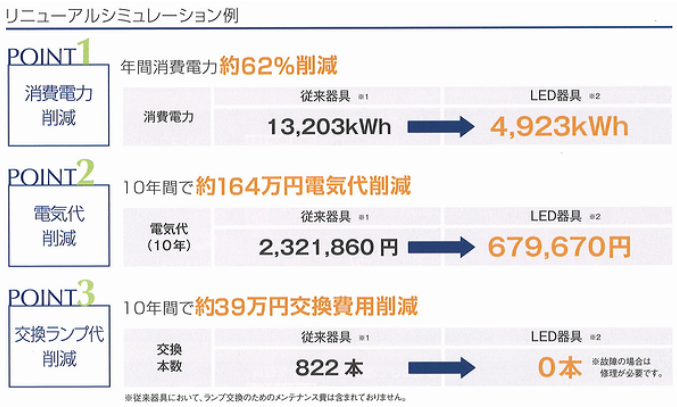


特徴：

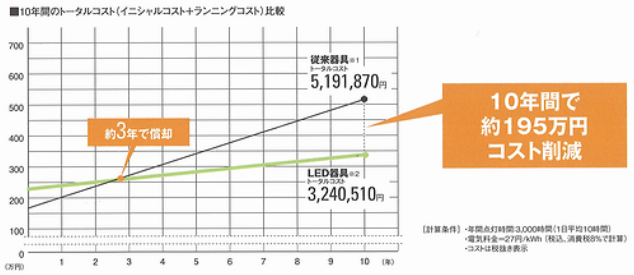
- ●電力の見える化：タブレットから家のすべてのあかりの状態が見える。
- ●集中コントロール：離れた空間のあかりを自由に設定・変更できる。
- ●信号線不要：信号線工事不要で、あかりがつながる
- ●調光・調色：空間のあかりの色と明るさを一括でコントロールできる。

(2)リニューアル需要獲得に向けた製品開発・販促活動強化

一戸建て、共同住宅に向け、LED照明への付け替え提案を強化。マンションについては、共用部リニューアル対応の照明を集めたパンフレット等で、省エネ・電気代削減・メンテナンス費削減のためのLED化をアピール。



マンション一棟（50戸）をLED器具にリニューアルした場合



3-3. 成長戦略 ②非住宅照明分野

ODELIC

店舗・商業施設向けほか幅広い用途に向けたラインナップの拡充

(1)コネクティッドライティングによる省エネシステム提案： Connected Lighting for Office & Shop

タブレット・器具・センサが信号線なしでつながる省エネシステムの提案でリニューアル、新設案件の受注拡大を目指す。

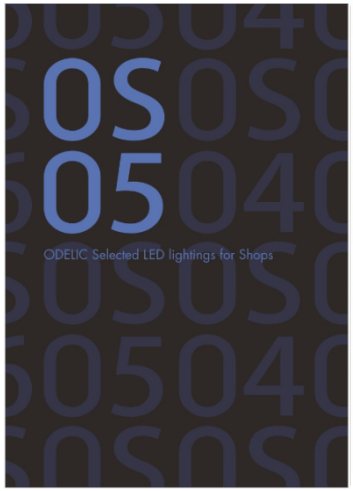
CONNECTED LIGHTING
for Office & Shop

特徴：

- ●信号線不要の簡単施工：既存の電源配線だけで簡単にコントロール機能を追加できる。
- ●レイアウト替えにも自在に対応：オフィスや店舗の模様替えの時など、照明ゾーンの変更も簡単に対応可能。
- ●タイムライン機能と別売センサで自動省エネ：1日の時間帯ごとの明るさを設定、プログラミングすることでオフィスや店舗を自動で調光できるほか、別売の照度センサ、人感センサでの自動調光が可能。

(2)中小店舗から工場・倉庫・屋外に至る幅広い製品開発

店舗・施設用LED照明器具カタログ「OS（オーエス）」カタログは新製品800点を追加したVOL.5を2016年4月に発行。今後も品揃えを充実させ、案件受注の獲得を進める。



工場や倉庫に向けては需要の伸びが大きい高天井用器具のラインナップを順次拡大中。
屋外用のハイパワー投光器も発売し、さまざまな空間・用途に向けた製品を開発する。

3-4. 成長戦略 ③海外展開

ODELIC

海外への展開加速

国際認証を取得したMade in Japanの高品質LED照明器具により、アジアや中東地域など、海外での売上拡大に向けた取り組みを引き続き進める。

2015年度の主な受注案件

ドバイ：レジャー施設

モンゴル：博物館

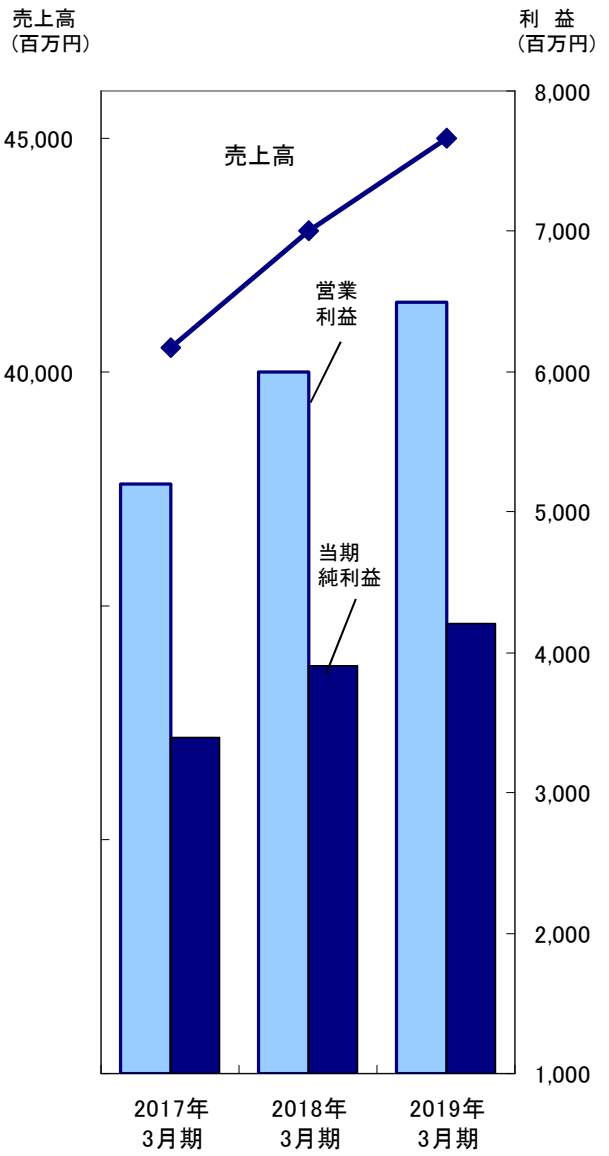
アジア各地：商業店舗・ショッピングモール

アジア各地：住宅

3-5. 中期経営計画における数値目標

ODELIC

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高（百万円）	40,500	43,000	45,000
営業利益（百万円）	5,200	6,000	6,500
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	3,400	3,900	4,200
売上高営業利益率	12.8%	14.0%	14.4%



2018年3月期以降、住宅照明分野については、平均単価が下がる中、前年度比横ばい程度と見込む。

店舗・施設案件への注力に加え、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた施設整備等の活発化が見込まれることから非住宅分野での売上伸長により、引き続き増収増益を計画する。

- プロフィール
- 株主状況

プロフィール

ODELIC

社名	オーデリック株式会社 （ ODELIC CO., LTD. ）
代表者	代表取締役社長　伊藤雅人
本店	東京都杉並区宮前1-17-5　 03-3332-1111（代表）
設立	1951年6月
上場	1996年11月 （東京都証券取引所 JASDAQ市場）
資本金	31億550万円
連結対象子会社	山形オーデリック(株) （生産、物流管理業務）
	(株)日本ライティング （販売）
	オーデリック貿易(株) （輸入、販売）
	アルモテクノス(株) （開発、生産）

株主状況

ODELIC

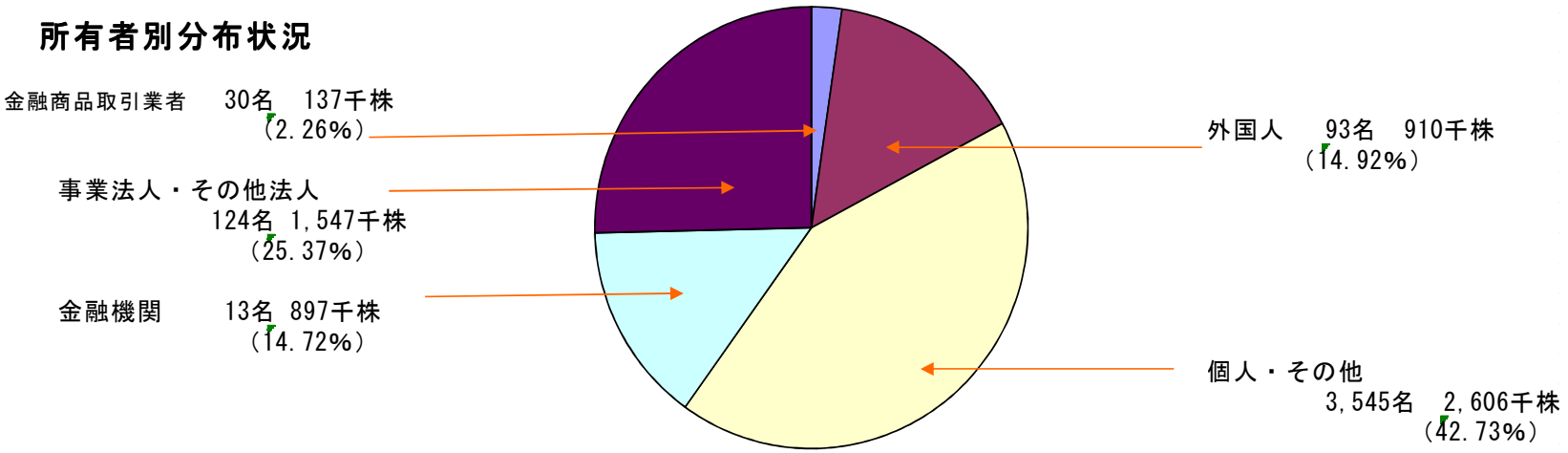
発行可能株式総数	28,941,000 株	（2016年3月31日現在）
発行済株式の総数	6,100,000 株	
株主数	3,805 名	
１単元株式数	100 株	

大株主

株主名	持株数（千株）	出資比率(%)
㈲アマセクリエート	625	10.25
オーティアイ㈱	430	7.05
オーデリック従業員持株会	252	4.14
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱	244	4.01
㈱みずほ銀行	242	3.97
伊藤恵美子	165	2.72
オーデリック取引先持株会	155	2.56
伊藤雅人	150	2.47
㈱三井住友銀行	150	2.46
㈱三菱東京ＵＦＪ銀行	100	1.64

※当期末現在の当社所有の自己株式数は76,477株、構成比率1.25%

所有者別分布状況



ODELIC

当資料の取り扱い上の注意

当資料に記された当社の現在の計画、予想、戦略等は将来の業績に対する見通しであります。 これらは、現在において入手可能な情報を基にオーデリックの経営者が判断し、作成されたものです。新たな情報、将来の事象、その他の判断に基づき、将来の見通しを見直すことがあります。

本資料に関するお問い合わせ先　　オーデリック株式会社
経営企画ゼネラルマネージャー　田中　豊
Tel　03-3332-1107
Fax　03-3332-1105